

第93号 令和元年12月18日(水) 発行
八戸工業大学第二高等学校・附属中学校広報委員会

ま
ら

第40回青森県高等学校総合文化祭美術工芸部門「最優秀賞」
「生」 油彩117cm×91cm 2年8組 清藤 百花

私がいつも過ごしている場所であるアトリエを背景に、
強い視線でこちらを見つめる人物を描きました。
特に気を配って描いたところは、窓から差しこむ光の表現と、
人物の表情です。光の表現は、色相を幅広く使い、
豊かな画面を目指しました。人物の表情には、
意志の力を感じさせるように描きました。

えがいた夢が
ながるわが
けつに色褪せることはない
熱い想いが
あるから

柴田一則



- 愛と絆でつながる
We are シンセキ!...p7
- PTA全国大会の学び...p15



第40回青森県高等学校総合文化祭美術工芸部門「優秀賞」
「溢れる」 日本画117cm×91cm 2年7組 原 杏美

雨の中で佇む人物を、日本画で制作しました。
雨の部分は、銀箔を使って描きました。
銀箔がとところどころで光って見える様子が、
雨の表現に適していると考えました。

文部科学大臣表彰受賞に寄せて

すべては子どもたちのために 子どもを支える保護者の生涯学習につなげる

この度、八戸工業大学第二高等学校・附属中学校父母と教師の会が「令和元年度優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞しました。

これは、PTA活動で顕著な実績をあげている団体に贈られるもので、8月22日京都で開催された第69回全国高等学校PTA連合会大会京都大会において表彰を受けて参りました。前日までその日の京都の雨の予報でしたが、当日はまさかの快晴！代表して表彰式に参加した役員6名のボルテージが雨雲も吹き飛ばしたようで、会場も熱気で溢れていました。しかし京都はとにかく暑かった！

ホールには今年度も全国から選ばれたPTA広報誌が掲示されていました。

もちろん2年連続東北地区高校PTA連合会広報紙コンクール最優秀賞に輝いた本校の広報誌「きら」も掲示されており、展示していた「きら」が手違いで持ち去られるという珍事も発生しましたが、全国大会ではそのようなハプニングもなく、最後まで多くの方々に手に取って見ていただきました。

さて、今回の受賞は「関係者の皆さんの力を結集し積み上げてきたことが評価された」とのことだと、本当にうれしく思っています。

PTA会長 柴田 一則

第69回全国高等学校PTA連合会大会京都大会

KyOから！未来を拓く 受け継ぎ、創る新たなストーリー

第69回全国高等学校PTA連合会大会京都大会が「KyOから！未来を拓く」受け継ぎ、創る新たなストーリーをテーマに掲げ、盛大に開催されました。本校からは柴田会長をはじめPTA役員6名で参加してきました。また開会式の中で各表彰が発表され、本校は優良PTA文部科学大臣賞を受賞しました。

記念講演では日本電産株式会社代表取締役会長の永守重信氏から「学校教育・家庭教育に思うこと」と題したお話を頂き、これからは偏差値やブランドで

大学を選ぶのではなく、何がやりたいのかを軸に考えること、英語力をつけてグローバルな場面で活躍できる力をつけることが重要であることなどの内容に、多くの参加者が共感していました。

PTA副会長 小泉 輝美



生涯学習の場に、皆の気合は十分！



保護者は子どもが、何を好きで、何をやりたいのかを常に考え、子どもと共に成長していくことが大切だ。その中で印象的な言葉が「情熱、熱意、執念」でした。まず、自分の夢を持ち、将来に必ず実現させるという情熱、熱意を持つこと。そして、夢の実現のために努力して最後までやり遂げる強い心を持つこと。大切さ、学歴や社歴ではなく、グローバルに通用する前向きで積極的な考え方、行動の重要性。また、このような学びが出来る環境に身を置くことについて、真剣

京都大会 記念講演 情熱・熱意・執念のメッセージ

大会の中で、一番印象に残り、心に響き感動した記念講演にスポットを当て、研修の報告をさせていただきます。

講演のテーマは、「学校教育・家庭教育に思うこと」、講師は日本電産株式会社の代表取締役会長であり学校法人永守学園理事長である永守重信氏でした。永守氏は現在の高等教育の在り方に危機感を覚え、自身の私財を投じてまで在るべき高等教育を実現し、世界で活躍できる人材を育成しようとされています。その考えは私の心にも深く刻まれました。やはり多くの夢を実現されてきた方の言葉には説得力があり、一言も逃してはならないとペンが走り、「ドキドキわくわく」する講演内容でした。このような感覚を持つことは久々の経験となりました。

その中で印象的な言葉が「情熱、熱意、執念」でした。まず、自分の夢を持ち、将来に必ず実現させるという情熱、熱意を持つこと。そして、夢の実現のために努力して最後までやり遂げる強い心を持つこと。大切さ、学歴や社歴ではなく、グローバルに通用する前向きで積極的な考え方、行動の重要性。また、このような学びが出来る環境に身を置くことについて、真剣

講師：日本電産株式会社 永守 重信氏

に子ども達と向き合って進路を考えているか、子ども達の将来性を踏みにじっていないか。永守氏は、世のお母さん達に伝えたいと声を大にし、子どもを社会に送り出す親として「人を育てる」ことについて改めて考えさせられました。

永守氏は昨年より京都先端科学大学等を運営する学校法人永守学園の理事長にも就任されており、大学において大切にすることについて次の3つを掲げられました。

- ①グローバル社会での英語力
- ②専門教育での学びを社会の仕組みの中で活かすこと
- ③挨拶、礼儀といった基礎的なことから人間教育

英語+人間力を学び、即戦力人材となる積極性を身につけ、自信を持って社会で活躍するための大学生活を送り、人間力を磨く努力が必要である。若い世代に足りない力の原因は、ブランド主義と偏差値に偏った日本の大学教育にあることを指摘されました。「子ども達と一番向き合っている世のお母さん達が子どもに与える影響力と方向付けについて目を覚ませ」と真剣に本気で言っておりました(笑)。

情熱、熱意、執念をモットーに自分を信じて努力することを常とする永守氏の厳しいことばの裏には、最後までユニークな視点で、聴く人を惹きつける指導者としての気概が感じられ、会場は最後まで笑いの絶えないまま締め括られました。

記事 横田



大画面に「二高」が映し出される。感動の瞬間。



デーリー東北に掲載。表情がかわいい！

東北広報誌コンクール 最優秀賞 2連覇達成!!

八戸工大二高・附属中学校の広報誌「きら」が、2018年度東北地区高等学校PTA連合会広報誌コンクール(同連合会主催)で2年連続の最優秀賞を獲得した。編集を手掛けたPTA広報・進路対策委員会のメンバーは「読んでもらいたいという思いで、一生懸命に製作してきたことが形になった」と喜びを噛みしめている。

きら、は、18年度の県のコンクールで応募総数47校の中から最優秀賞を受賞。それを受けて東北地区のコンクールに推薦され、6県3校ずつの出品作品から最高賞に輝いた。受賞作品は、昨年6月に宇宙から帰還した宇宙飛行士の金井宣茂さんの報告会の様子や、昨年度創設された附属中との初の合同開催となった二高祭、体育祭などを特集したもの。表紙の大胆なデザインや記事の多さなどが評価された。二高と附属中の委員メンバーで、力を合わせ誌面づくりができたこと、広報誌の目的を相互理解し取り組めたことが成果につながった。



高P連山形大会

一人ひとり個性が奏であう未来へ 「自立・協働・創造をめざして」

7月5日、山形市総合スポーツセンターに於いて「一人ひとりの個性が奏であう未来へ」自立・協働・創造をめざして」を大会テーマに開催された第68回東北地区高等学校PTA連合会山形大会に、柴田会長ほか役員7名で参加してきました。

オープニングは山形北高校音楽科の生徒さんによる県民の歌・最上川の独唱で始まり、開会行事では、本校の広報誌「きら」が表彰を受けました。その後、研究協議や事例発表、そして「常識を破って子どもを伸ばそう」と題して、百ます計算や陰山メソッドで有名な山形英男先生の講演、最後に村山産業高校郷土芸能部の発表で大会が閉会しました。

会場ホールに東北各県のPTA広報誌の優秀作品が並べられておりましたが、なんとその中の二高の広報誌が持ち去られるというハプニングがありました。多くの東北の皆さんに見て頂きたかったのが本当に残念でした。

私自身は今回、二高を代表して広報誌コンクール最優秀賞の表彰状を授与されるという大役を経験させて頂きました。東北各地から集まった多くのPTA関係者の前で表彰状を頂く大変貴重な経験でした。広報誌の作成にあまり関わってな

い自分が増上に居ることの居心地の悪さも、前日の深酒の気持ち悪さも、二高のPRに貢献できたという誇らしい気持ちのお陰で、すっかり晴れやかな気分です。場を後にすることができました。

PTA副会長 安原清友



表彰を受ける安原副会長。(左)



県高P連下北むつ大会

保護者も生徒もイキイキする PTA活動のために

6月7日、県高P連下北むつ大会に参加してきました。基調講演として行われた医師の桑山紀彦さんによる「子ども達が生きていく世界の現状(いま)」では、紛争や貧困に負けずに学ぼうとする世界各国の子どもたちの力強さに感銘を受けました。

また、昨年度本校PTA副会長を退任された城前洋次さんへの表彰も行われました。さらに突然「広報誌コンクール最優秀賞の賞状を代理で受け取るように」と思わぬ大役を仰せつかり、晴れ舞台に立たせて頂きました。思い出深い研修になったことを、広報委員会の皆様並びに柴田PTA会長に感謝しています。

PTA副会長 熊谷勝之



珍しく(?)緊張しています。熊谷副会長。



今回も楽しく学ばせていただきました。「やるときにやる」のが二高PTAです。



私立高等学校 補助金拡充を ～すべては明日を担う子ども達のために～

保護者会連合会
県に陳情書提出

10月26日、第35回青森県私学振興大会青森大会が「豊かな私学教育の振興と保護者負担の軽減のために」のスローガンのもと盛大に開催された。この大会は、私立学校の教育費負担軽減のため、私学助成や就学支援金制度の継続と更なる拡充を求める大会で、県内の私学に関わる保護者たちが中心となり35年間続いている、全国でも歴史のある大会である。

来賓挨拶では、県議会議長代理で本校後援会会長の熊谷雄一県議員が祝辞を述べた。祝辞の中で、私立高校と国公立校の教育費負担の格差に言及し、「私学の特色ある教育はさまざまな分野で優秀な人材を輩出してきた。真の公平な学校選択の下で教育が受けられるようにしなければならない」と述べた。最後に大会決議文が満場一致で採択され、11月には私学助成の署名を添えて、県と県議会に対して陳情・請願が行われる事が報告された。

大会終了後は、場所を変えて情報交換会が行われ、他校のPTAと交流を深めながら私学助成に対する決意を新たにした。

渉外部 四戸 盛

全国平均高等学校生徒1人当りの公費支出額の公私比較

私立(円)	312,778 私立学校	805,037 公私間格差
私立比率	28% 私立学校	72% 公立学校
公立(円)	1,117,815 公立学校	

青森県高等学校生徒1人当りの公費支出額の公私比較

私立(円)	341,192 私立学校	956,256 公私間格差
私立比率	26.3% 私立学校	73.7% 公立学校
公立(円)	1,297,448 公立学校	

H29年度実績から



豊かな私学教育の振興と保護者負担軽減のために



先生も保護者もこの笑顔。自然と会話も弾みます。

8月2日三沢市のきざん三沢において、保護者と教職員26名が参加し、毎年恒例の三沢・十和田・上北地区保護者懇談会が開催された。

全体会では、柴田PTA会長、明石校長先生からの挨拶の後、各学年主任からそれぞれの学年の生徒の様子などの近況報告がなされた。懇親会では、保護者と担任が各テーブルを囲み、生徒たちの学校や家庭での様子等について会話が弾み、終始、和やかな雰囲気で大いに盛り上がり有意義な時間を過ごした。

渉外部長 四戸 盛

三沢・十和田・上北地区保護者懇談会
笑顔からはじまる
コミュニケーション

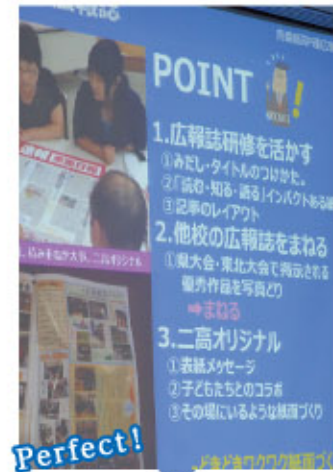
高P連 広報誌づくり研修会

思いを伝える広報誌

「ドキドキわくわく」するような誌面づくり

6月28日、県内高校PTA役員および外部担当教員が84名参加し、広報誌づくり研修会が開催され、本校からは3名が参加してきました。県高P連広報委員長及び事務局校長あいさつの後、気になる今年度の広報誌コンクールに関する発表が発表されました。そして本校が昨年度、広報誌コンクール最優秀賞を受賞したことにより、広報誌作成に関する発表をさせていただきました。「思いを伝える広報誌をテーマに、7年前の学校任せから、現在の保護者が作る「読みたくなる」ドキドキわくわくする広報誌」に至る変化や編集努力について発表しました。柴田会長や委員の皆様のご協力があり、楽しく二高広報誌の素晴らしいことを伝えることができました。貴重な経験をありがとうございました。

広報委員長 岡沼 芳子



インパクトある見出しを...。まずは認識してもらうことが大事。「おやっ」と思わせたら大成功！



あなたの笑顔はチャームイン

登校時一声運動(1回目)
7月12日、「あいさつ運動を通してお互いの意思の疎通をはかり、家庭における親子の会話の一助に資する」という目的のもと、四戸渉外部長・希望生徒・15名の保護者により「登校時一声運動」が実施されました。

自ら明るくあいさつができる生徒、気恥ずかしそうにあいさつを返してくれる生徒、多様な個性の生徒に出会うことができました。

登校時一声運動(2回目)
10月11日秋晴れの中、今年度二回目の「登校時一声運動」が実施されました。7月に続き、たくさんの保護者、生徒により明るいあいさつが響き渡っていました。

よく見ると、何やら教材を手にして登校してくる生徒も数多く、特に三年生は受験・就職を控え、一生懸命に勉強している姿を見ることができました。今年度も活動にご協力頂き、ありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお願いいたします。

健全育成委員長 竹高 徹



笑顔のあいさつ、気持ち良い1日の始まりですね!!



Good Morning SMILE



愛と絆でつながる

We are シンセキ!

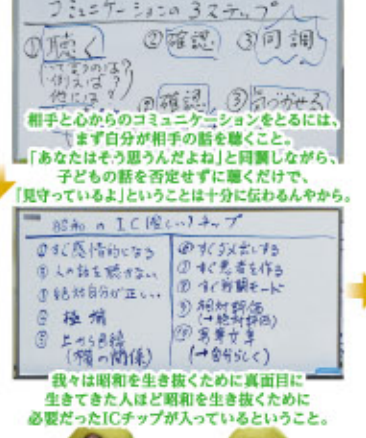
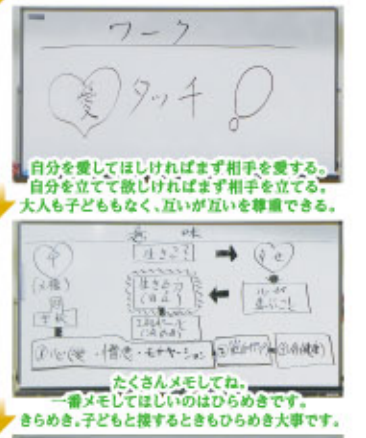
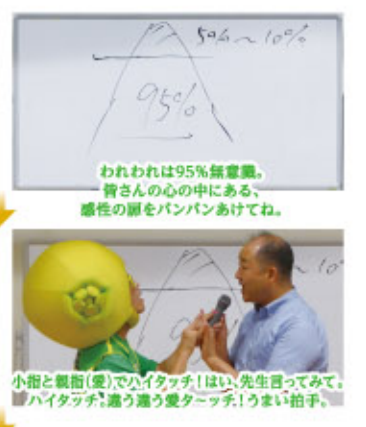
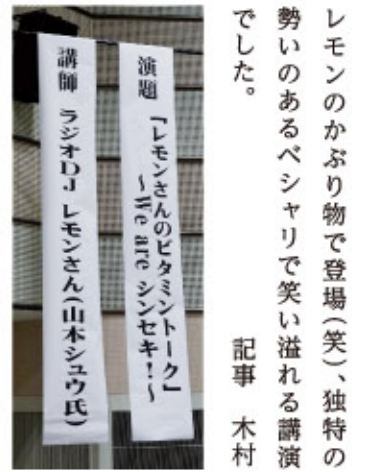
講師:レモンさん(山本シュウさん)

レモンさんからの熱い、あつ〜いメッセージ

9月13日、県高P連合同研修会に参加しました。今回は、DJや司会として活躍中のレモンさんこと山本シュウさんの講演。3度目の講演を聴いて、ますますファンになりました。演題は「レモンさんのビタミントーク」We are シンセキ!です。



みんな、その子ならではの強みを既に持っている。教えるのではなく「気づかせる」。怒るのではなく「考えさせる」。押しつけるのではなく「自信をつけさせる」。それが大事だと気づけば、子どもの世界一の応援者になれるはずで!



生きてれば、笑ってれば幸せや!

元気が一番!
元気があれば、
なんでもできる!!

ちょっと不思議(?)なキャラも
ニコフェスでは全然アリ!!

みんなを楽しませる
熱い心!!

模擬店Girlsフル回転!
カレーライスが年々おいしくなるよ!!

NIKO PRO WRESTLING

二高名物、心・技・体が備わった?
最高のプロレスショー!!

今日もまた、熱い戦いが
繰り広げられる...!!

激しいショーでも
ケガをしない
丈夫な体!!

みんなを魅了する
多彩な技!!

みんなで盛り上げるのが
ニコフェス!!

二高・附属中 同時開催 ニコフェス 笑祭 REVOLUTION

気持ち悪さで大人気!
男の娘の喫茶店♡

It's cool!!

あっとこれはいけない!
毒霧だああ!!

脇役もアツいぜ!
みんなが主役のニコフェス!

踊りたくなる楽しさ!!
Let's Dance!!

PTAバザーへのご協力
ありがとうございました!

「ニコニコ市」のボランティア活動 ニコカフェ

特に暑かった今年の夏。二高祭当日も例外なく暑くなり、ドトールのアイスコーヒーは飛ぶように売れ、慌てて追加注文するほどでした。

保護者の皆様には前日準備を含めた3日間で53名ものたくさんの方々にお手伝いいただき、大変感謝しております。特別にお父さんスタッフには重いものの運搬やコーヒーの補充(これがなかなか大変)の他に、コーヒーの売り歩きで活躍していただきました。懇ろに来年もお手伝いをお願いします!

嬉しかったことは「皆さん笑顔で楽しそう」と声をかけられたことです。ニコカフェが保護者の皆さんの交流の場になったようでなによりです。

売上げはすべて生徒のボランティア活動等に充てていただけとのこと。子どもたちのために何かしたい、という保護者の思いが形となり、心より嬉しく思います。

母親研修委員長 松田 幸絵

9

八戸工業大学第二高等学校ホームページ <http://www.kodai2-h.ed.jp/>

8

忘れることのない
青春時代!

6月7日 体育祭
7月14・15日 二高祭(文化祭)
7月17・18日 スポーツ大会

ニコフェス 笑祭 REVOLUTION

中高生と一緒に参加する二高祭。
生徒たちも保護者の皆さんと一緒に
楽しむ素晴らしいイベントです。

パシャ
パシャ!
子どもたちの
かわいい姿は逃さない!

たくさんのご来場&ご声援
ありがとうございました~!

弟、妹チームも
やったるでえ!

軍は違っても、NIKO
One Team!!

お姉さんチーム、
優しく引っ張ってくれました!

主演男優賞は
いただきました!

中学生・高校生・教師・保護者が 一緒にアオハル!これがニコフェス!!

みんな一緒に盛り上げられるの、
二高の良いところだね!

f#x山あ*ëく€\$n...

まっすぐ走れない~!?

とるか、とられるか!
あんたら、覚悟しいや~!!!

この迫力!
高校生お兄さんチーム!!



11月4日、ナチュラルドライフラワーアレンジメント「アンカー」主宰の中村晶子先生によるクリスマスリース作り教室が行われました。教室の中に入った瞬間から森林の中にいるような木々の香りが心地よく、気分をリフレッシュさせてくれました。コモンシギヤヒバといった生の針葉樹の葉をクリスマスリースの土台にたくさん巻き付け、植物の実や葉でできたオーナメントを飾り、まさにナチュラルなリースができました。作りたての今は緑で若々しいクリスマスリースですが、数ヶ月経つと葉の色や風合いも変わってきて落ち着いた雰囲気になるとのこと。時間と共にアンティーク感が増していくのが今から楽しみです。初めてのリース作り、参加者の皆さんと楽しく作れたことに感謝しています。

母親委員会 元沢亜紀子



個性豊かなリースが完成しました。クリスマスが楽しみです！



「あーでもない」「こーでもない...」が楽しい！

ナチュラル・クリスマスリース

クリスマスリース作り研修



あ!!横田3学年委員長がウシさんに食べられちゃう！

「風船とりゲームしますので、前にめて座ってください。」松田委員長さんが皆で遊べるゲームを準備してくれて、初対面同士でも和やかにバスの旅がスタートしました。

くずまき高原牧場ではアイスクリーム作りに挑戦。17人にボウルが2個で、自然と2チームに分かれての対抗戦？となり、同じ材料なのにかけ混ぜ方で味が変わることにより、次に作ったバター同様、良質な乳製品を使った手作りの味わいはどれも格別でした。お土産にこれ迷った後は、楽しみにしていたランチタイム。すっかり打ちとけた会員の皆さん達のおしゃべりに花が咲き、お腹いっぱい幸せな気分です。帰途に着いた研修旅行でした。

母親研修委員会副委員長 上野 幽香



日頃磨いている主婦の技が光ります。

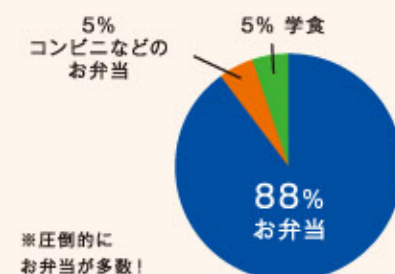
We love お弁当！

保護者の皆様、今日もお弁当作りお疲れ様です。毎日毎日いろいろ工夫してお弁当を作っているものの、子どもはどう思っているのかしら...？他の方はどんなお弁当を作っているのかしら...？とお悩みの皆さんのために、二高生と附中学生の赤裸々なお弁当事情に迫ってみました。新たなお弁当トレンドをご紹介します！

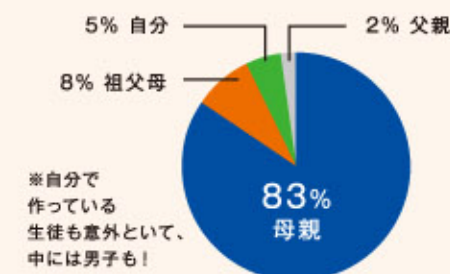
お昼は何を食べている？

大人も子どもも大好きなお昼休み。お昼休みと言えばお昼ごはん。

・二高生は何を食べている？



・お弁当を作るのは誰？



荷物が多い日、カラを捨てて少しでもかばんが軽くなるように作ってくれるお弁当だそう。



自分で作ったお弁当(女子)。お仕事が忙しいお母さんの分も一緒に作っているそうです。



ワイワイ食べるランチタイム大好き！



運動部男子のお弁当。弁当+おにぎり+パンは常識。

二高生の実態

アンケートから生の声をお届けします！

好きなおかずは？

卵焼き かにかクリームコロッケ ハンバーグからあげ グラタン おくら パン サラダ かぼちゃの煮物 豚肉のアスパラ巻き 牛肉たれつきからあげ etc...

お弁当に、リクエスト！

スープが欲しい ご飯の量を増やして欲しい 生ハムが食べたい 野菜がもっとほしい 食べきれない量にしてほしい デザート増量希望 毎日おいしいのでないです etc...

テンションが上がる！お弁当は？

スープとか温かいものがあるとき 親子丼 牛丼 やきそば 緑黄色野菜ふりかけしょうが焼き 白米 くだもの オムライス スパゲッティ etc...

「スープが欲しい」って...？ 新しいお弁当のトレンド 「スープジャー」



ここ数年、スープジャー利用者が増えています。お味噌汁を持って来たり、お湯を入れてきてスープのもとを入れて食べたり。特に寒い冬は温かい食べ物が欲しくなるため、持参する人が多いようです。でも夏は夏で麺類や冷たいフルーツなどを持ってくるのに最適とのことです。スープジャーを利用したレシピも続々登場しているようです。

家庭科・千葉先生オススメのスープジャーレシピ！

●豆乳キムチスープ

材料(1人分) 無調整豆乳150mL、キムチ40g、手羽中4本、お酒小さじ1、鶏ガラスープの素小さじ半分

作り方 ①手羽中にお酒をかけ、レンジ600wで1分半加熱する。
②キムチと無調整豆乳は混ぜて600wで2分加熱する。
③スープジャーに①の手羽中を入れ、熱湯を注ぎフタを閉め、1分間温めてから湯切りする。
④③に豆乳キムチと鶏ガラスープを入れる。
※1時間後ぐらいが食べごろタイムです。キムチの量は好みで調整OK。

●自家製ヨーグルト

材料(1人分) 牛乳200mL、プレーンヨーグルト20g

作り方 ①牛乳をレンジ600wで1分20秒加熱する。
②温めておいたスープジャーにヨーグルトと①の牛乳を入れてきっちりフタをしてシェイクする。
③そのまま常温で1晩放置する。
※冷やして食べるとよりおいしい！



PTA全国大会の学び ～SNSを利用する上での情報モラルについて～

スマホを与えている保護者の皆さん、今回は特集として第69回全国高等学校PTA連合大会京都大会の初日、第5分科会、テーマ「情報教育を体験する～現代の子どもが学ぶ情報教育を体験してみませんか?～」の内容をご紹介します。

分科会では、LINE株式会社の西尾勇気氏らによるワークショップが行われました。学校現場にいと、SNSによるトラブル等がどうしても気にかかり、LINEは便利ではあるもののマイナスなイメージでとらえがちになっていました。しかし本来、東日本大震災のあと、人と人がつながるためのコミュニケーション手段として開発されているものだと知り、そのことにまず驚きました。そして情報化社会を生きる子どもたちにとって情報リテラシーは不可欠なものであり、学校と家庭が連携をして情報教育に取り組むべきであると改めて感じました。

以下は、分科会で渡された資料です。一度ご家庭で親子一緒にSNSについて考えてみてはいかがでしょうか?

自分と相手とのちがいが①

あなたが、クラスの友達から言われて「いやだな」と感じる言葉の一つを選んでみましょう。



あなたが、クラスの友達からされて「いやだな」と感じる順番に上から並べてみましょう。



自分と相手とのちがいが②

友達から次のメッセージが届きました。それぞれA/B/Cに分けてみましょう。



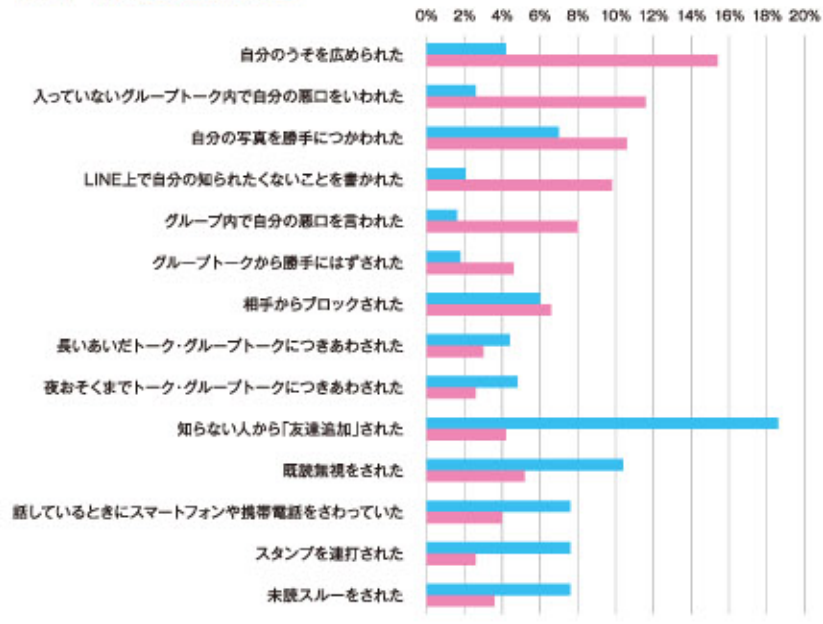
自分と相手とのちがいが③



ネットの特性

文字だけで伝えると、その時の「感情」が伝わらないので、相手に誤解されることがあります。例えば、直接、相手に「まじめだね」と言う場合は、その時の自分の表情や口調から、相手は「まじめだね」の意図を理解します。しかし、文字だけで「まじめだね」と伝えると、自分の表情や口調が相手には伝わらないので、自分が伝えなかった「まじめだね」の意図が誤解されてしまう場合があります。

ネットで体験した嫌なこと



出典:「青少年のネット利用実態把握を目的とした調査(中間報告)」(平成30年3月・LINE株式会社)のデータより作成

写真を公開する前に①

あなたなら、どの写真をネットに公開したいと思いますか。公開しても問題がないと思う順に上から並べてみましょう。



写真を公開する前に②

あなたが、ネットに公開されたら「いやだな」と感じる写真を一つ選んでみましょう。



PTA活動と生徒をつなぐ講演会

ヒューマンプロセスは人は一瞬で生まれ変わることができる

4月13日、本校PTA会長の柴田一則さんを講師にお招きし、カレッジクラス生を対象に「PTA活動から得た宝物ヒューマンプロセス」人は一瞬で生まれ変わることを生きた宝物を開催しました。柴田さんは本校のPTA会長、県高P連の副会長を務められる一方、(株)テクノルの取締役執行役員としてオフィス空間や店舗空間のデザインに携わり、ビジネスの第一線で活躍されてきた方でもあります。仕事を通じて学んだこと、PTA活動を通じて地域に貢献しながら得られたことや感じたことを、親の立場から、そして社会人の先輩としての立場から、高校生に分かりやすく熱く語って下さいました。生徒たちは動画や音楽も交えたテンポの良いお話しに真剣に聴き入っており、心に残る講演会であったようです。

参加生徒の感想から

・今日、お話しを聞いて、自分の人生を楽しんで生活しているかと考えたとき、自分にはそういう意識が低かったと気がついた。一日一日を大切に過ごせる自分になりたいと思った。人生は一度きりだから、真剣にやる時はやり、楽しむときは楽しみ、最高の高校生活にしたい。

・人として大切なことを学ぶことができた。成功の反対は失敗ではなく、「何もしない」ということだと聞いて、何でも良いから挑戦してみようと思った。また、自分に起きる出来事を他人のせいにはしないで、自分にも良くなかったところがあつたのではないかと考えることが大切だと感じた。

・色々なことを考えるきっかけになった。例えば僕はモチベーションが続かないのが悩みだが、今回のお話しを聞いて、解決できるかもしれないと思った。また、人に与えたものは必ず自分に返ってくるという法則を忘れず、他人のために行動しそれを自分の幸せにできる人間になりたい。

渉外部 坂上



「人は一瞬で生まれ変わることができる。」



最後に会長と生徒たちで記念撮影。かけごえは「いいねっ!」



「何かに向かって努力するプロセスが大切!!」

もちろん後輩から学ぶこともたくさんありました。私自身の人生の糧としていきます。最後に今回貴重な時間をくださった学校、先生方や生徒の皆さんに心より感謝いたします。

夢や目標を持ってチャレンジ! プロセスを大事に

講師:小泉 輝英 (二高OB・現PTA副会長)

八戸工大二高を卒業して27年。母校のOBとして在学中の失敗談などを交え講演させて頂きました。つかみはオケールとはいかなかったものの、生徒たちは最後まで真剣に話を聞き、そして答えてくれました。

今回、夢や目標をもって真剣に取り組む、チャレンジすること、その先に失敗や挫折があつたとしても、ゴールにたどり着くまでの過程(プロセス)はこれからの人生において重要になるということをお伝えしました。何かひとつの目標に向かって一生懸命取り組む経験は、自分にとって誇れる財産となつて必ず皆さんを支えてくれます。その為にも普段の生活から少しずつ変えてみませんか?

授業においてもどうせやらなければならないのなら、終わりの時間を気にしながら受けるのではなく、どう楽しくできるかを自分なりに考えてやってみる。先生もどうすれば生徒が興味を抱き授業に向き合うかを考える。双方が少し考え実行するだけで、より一生懸命取り組める環境へ変化し、より素晴らしい高校生活を送れるのではないのでしょうか。

後に講演を聞いてくれた後輩全員から感想をもらい、感銘を受け、自分自身を見つめ直すことができました。

ACクラス講演会

世界へ飛び出せ、二高附中生!!

八戸市英語弁論大会

三陸ジオパーク巡見

一年生だけど

三位入賞!!

今回の弁論大会は、「道具をよりよく使う」というテーマで発表しました。刃物で人を殺す悲しい事件を見て、安全と平和を願うこのテーマにしました。

大会に向けての練習では、最初はつかえたり噛んだりが多かったものの、毎日の練習で上手くなっていました。

本番では、各校の三年生たちがレベルの高い発表をする中で、緊張しながらの発表でしたが、3位に入賞できました。発表の機会を頂いたこと、私の指導をして下さった先生方から感謝します。

一年 沼田 大地



素晴らしい! おめでとう!

「琥珀になりたい...」

「えっ!」

三陸ジオパーク巡見で琥珀博物館に行き、琥珀の性質などを知り、探掘体験をして楽しみながら琥珀について学びました。また、久慈溪流の鏡岩を訪れて、普段見ることのできないとても美しい自然の姿を見ることができました。鏡岩ができるまでには、とても長い年月がかかっていることが分かりました。鏡岩の奥には「不老泉」という、岩手の名水に選ばれている泉がありました。さらに、溪流の爽やかな音も楽しむことができました。

一年 中野 昊汰



普段のおちゃめな姿はどこへやら? とても真剣です。



君は最先端を見たか?

東京研修旅行

私達は、東京大学リサーチキャンパスとJAXAつくば宇宙センターを見学するため、研修旅行に参加しました。東京大学では、深海探査に向けての自律ロボットや、高輝度照明を使って探索する技術を学びました。宇宙センターでは、人工衛星の模型や宇宙服の展示を見学し、とても興味深かったです。また、宿泊したホテルの近くには浅草の雷門があり多くの観光客で賑わっていました。今回の研修で、地元では体験できないことができたので良かったです。

二年 笹川 美希



ひとまわり大人になれたはず!! これからも成長にご期待ください。

保護者の念願

かない開催へ!

12月7日、八戸工大二高附属中学校PTA懇親・懇談会が開催されました。担任の先生方と、教科担当の先生方にもご参加いただき、保護者合わせ、総勢35名の参加となりました。中学校単独での開催は今回が初めてです。

開会の言葉では、山谷洋美2学年委員長が、この会を熱望し、ようやく開催された喜びを話されました。また、柴田三則PTA会長より「この会を先生方と仲良くなる機会にしてほしい。先生と仲良くなると学校に行きやすくなり、先生に相談しやすくなる。そして、この場で先生方にたくさん褒めてもらい、その話を子どもにする。その話は、親に同じことを言われるよりも、子どもの心に響く。」とお言葉を頂きました。懇談中は、先生方がすべての席を回り、参加したすべての保護者に声をかけてくれたこと、そして「一人をきくと理解してくださっていることがとてもありがたかったです。改めて、この中学校に入学させて良かったと感じました。」

保護者同士も初顔合わせの方もおりましたが、隣の席の方と、そして、テーブル全体が話の渦に巻き込まれ、とても和やかな雰囲気になりました。心から参加して良かったと思った懇親・懇談会でした。

記事 相馬

開催のキーパーソン

二年委員長 山谷 洋美

私立中学校なので、小学校の違う子どもたちが集まり、親も子どもも初めましての方ばかりでした。そこでは是非懇親の場を持ちたいと、昨年5月より計画しておりました。会場や日程、学校との調整が今回ようやく整い、開催に至ることができました。嬉しく思います。強いて申し上げるならば、2学年の保護者としては、もっと早く開催したかった...。先生やたくさん保護者の方にご参加いただき、本当にありがとうございました。とても楽しい会となりましたので、第二回も企画したいと考えております。今後ともどうぞよろしく願います。



Face to Face! 大事です。